

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第60号
平成24年6月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



左より雨宮氏、川並理事長・学園長、川並名誉学園長

平成四年度よりスタートし、今年二十周年を迎えた聖徳大学の生涯学習講座「聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)」は、四月二十一日(土)、聖徳大学川

前理事長・学園長の胸像除幕式

四月二十七日(金)、第七十九回学校法人東京聖徳学園創立記念日式典、川並弘昭前理事長・学園長の胸像除幕式が挙

行されました。式には、川並知子名誉学園長、川並弘昭理事長・学園長、胸像の制作者である彫刻家・雨宮敬子氏をはじめ、多くの関係者が参列しました。

胸像は、前理事長自身が長年にわたり構想を温め、実現された図書館のエントランスで毎日学生たちを見守っています。「雨宮敬子氏略歴」昭和六十年日展内閣総理大臣賞受賞。日展顧問、日本彫刻会常務理事を歴任。



講演をする青島氏

「SOA開設二十周年記念 オープニングセレモニー」開催 1300人が音色に酔う

並香順記念講堂でオープニングセレモニーを開催、当日は千三百名を超える来場者がありました。記念セレモニーでは、塩見みづ枝・文部科学省前生涯学習政策局社会教育課長による基調講話等がありました。

公開講演には、テレビでもおなじみの作曲家・青島広志氏を招き、今年度のSOA年間テーマ「ライフのち・くらし・人生」にちなみ、「音楽の喜びは生涯にわたって」と題し、「何歳からでも始められる合唱、年配の方が始めるならバイオリンよりもピアノがおすすめ」など、青島氏のユーモアあふれる話がありました。

音楽学部教員によるコンサートも

プログラム後半の聖徳大学音楽学部の教員によるミニコンサート(コーディネート/原佳之・演奏学科教授、解説/山本まり子・音楽総合学科教授)では、テノールの望月哲也講師とソプラノ島崎智子・演奏学科教授のソロとデュエット、そして、原教授と山田昌宏・演奏学科准教授によるピアノの二重奏でした。さらに、松居直美・演奏学科教授の迫力あるパイプオルガンの演奏もあり、会場を魅了しました。



参加した人間栄養学部の学生たち(後列左が筆者)

学生による報告

人間栄養学部オリジナルレシピを披露 — きやつせ物産展2012

聖徳大学人間栄養学部四年 志田 奈生子

去る三月二十五日(日)、千葉・幕張メッセで行われた「ちばこっぴきやつせ物産展2012」に参加させていただきました。この企画は、東日本大震災復興支援として行われたもので、

「さんまのかば焼き」で簡単にできるアレンジ・レシピを考え、参加しました。

物産展では、宮城ブーシの一員としてレシピの紹介と料理のサンプル展示、子ども向けの食育クイズを行いました。初めて参加させていたため、不安もありましたが、たくさんのお客様にお越しいただき、レシピの紹介や食育クイズを行うことで、私たち一人ひとりのよい学習の機会となり、一回り大きく成長できたのではないかと思います。

また、私自身は被災者の

作ってみよう!

さんまバーガー



- 〈材料〉(2人分)
- さんまの蒲焼き… 90g
 - ご飯… 240g
 - トマト… 60g
 - 玉ねぎ… 30g
 - レタス… 30g
 - ごま油… 10g
- 栄養価(1人分)
- エネルギー… 339kcal
 - たんぱく質… 9.5g
 - 脂質… 10.0g
 - 炭水化物… 51.1g
 - 塩分… 0.5g

- 材料を切る
 - ・トマト、玉ねぎは、薄くスライスする。
 - ・さんまのかば焼きは、切れ目を入れ、食べやすい大きさに切る。
 - ・レタスは、少し大きめに切る。
- ご飯を成形する
 - ・約60g程度とり、おにぎりを作る要領で丸めて、平らにする。
- 焼く
 - ・フライパンを熱してゴマ油を入れ、ご飯を焼いていく。
 - ・表面に焼き色を付け、少し固めに焼く(1人分2枚)。
- はさむ
 - ・焼いたご飯の上に材料をのせ、はさむ。

速報1 聖徳大学 児童学部 児童学科 & 聖徳大学短期大学部 保育科

幼稚園教員・保育士の採用数 平成24年3月卒業生実績

6年連続 全国1位 (2008~2013年版週刊朝日進学MOOK「大学ランキング」より)

幼稚園教員就職者数… 186名
保育士就職者数… 224名
公立保育士合格者数… 52名
公立幼稚園教員合格者数… 5名

聖徳大学 児童学部 児童学科 公立小学校教員採用試験 平成24年度合格者 93名 (平成24年3月現在) (通学課程のみ、既卒者含む)

速報2 2013年4月、聖徳大学に文学とコミュニケーションスキルを融合させた新しい「文学部」が誕生

現在の人文学部にある4学科4コースの学びを統合し、独立した学問分野・体系を念頭に置いた新しい学びの仕組みを整え、2013年4月に「文学部 文学科」を設置します。文学科に設けられる6コースで、豊かな教養と併せ、実社会で強く求められるコミュニケーションスキルと柔軟な応用力を備えた人材を育成します。

現在の人文学部	2013年4月より
人文学部 ■生涯教育文化学科 ■女性キャリア学科 ■英米文化学科 ■日本文化学科 ●日本語・日本文学コース ●歴史文化コース ●書道文化コース ●図書館情報コース	文学部* ※2013年4月改組構想中 ■文学科* ●英語・英文学コース* ●日本語・日本文学コース* ●歴史文化コース* ●書道文化コース* ●図書館情報コース* ●キャリアコミュニケーションコース* (一部内容は、児童学部 児童学科 児童文化コースへ)

速報3 2014年4月、聖徳大学に看護学部 看護学科(仮称)の設置を構想中

建学の理念「和の精神」をもとに、人間性豊かな看護師の育成を目指して、2014年4月に看護学部 看護学科(仮称)の設置を構想しています。

平成二十四年 春の叙勲 受章者

四月二十九日(日)、平成二十四年春の叙勲受章者が発表され、本学園関係者より次の三名が受章の栄に浴されました。

●瑞宝重光章(教育研究功勞)



北原 保雄
聖徳大学学事顧問
人文学部日本文化学科
客員教授

●瑞宝小綬章(教育研究功勞)



藤井 繁
聖徳大学名誉教授

●瑞宝小綬章(教育功勞)



三上 裕三
元 聖徳大学大学院
教職研究科教授

聖徳大学が大学機関別認証評価において 2機関から認定される

聖徳大学は、平成23年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構(NIAD-UE)が実施する大学機関別認証評価で、「基準を満たしている」と認定されました。さらに、SOA(Seitoku University Open Academy)の教育活動を中心とした、正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況について、「目的の達成状況が良好である」との評価を受けました。また、財団法人大学基準協会が実施する大学評価(機関別認証評価)でも、「基準に適合している」と認定されました。

この評価結果により、本学の教育研究の諸活動が日本の高等教育機関として十分な水準にあることが認められました。本学は、今回の評価を受けてさらに一層、教育研究活動等の充実に努めていきます。

平成23年度「学園長賞」「学園優秀賞」

附属小学校が読書感想文でダブル受賞

4月27日(金)、第79回学校法人東京聖徳学園創立記念日式典が、聖徳大学川並香順記念講堂において挙行され、そのなかで「学園長賞」「学園優秀賞」の表彰が行われました。受賞団体、受賞者は以下の通りです。

◎学園長賞

「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール 10年連続最優秀校
聖徳大学附属小学校

学園長賞は、前年度、学術、スポーツ、芸術その他の分野において特に功績が顕著であった個人又は団体、並びに該当する学生等の直接的な指導にあたった教職員を表彰するものです。

◎学園優秀賞

第35回「てのひら文庫賞」読書感想文 全国コンクール 優秀賞受賞

高田 夢乃 (聖徳大学附属小学校5年)
湯浅 博斗 (聖徳大学附属小学校3年)

第53回全国書道展 団体の部 外務大臣賞受賞
聖徳大学附属女子中学校・高等学校 書道部

第11回全日本アールンピアノコンペティション 全国大会F級 優秀賞受賞
グランドファイナル総合全国大会 第2位受賞
藤川 慶子 (聖徳大学音楽学部演奏学科 器楽コースピアノ専修4年)

学園優秀賞は、前年度に同様の分野において、相応の功績が顕著であった個人、又は団体、並びに該当する学生等の直接的な指導にあたった教職員を表彰するものです。

※受賞時の所属・学年

もう一人の自分

学園優秀賞 読書感想文全文掲載(原文ママ)

聖徳大学附属小学校五年 高田 夢乃



課題図書 大石 真
「見えなくなったクロ」

自分のことを一番見ているのは、当たり前のことだが自分であるに違いない。自分の良いところも悪いところも全てお見通しだ。
そんな自分をよく知る、自分のような存在の犬丸太郎みたいな人物が現れたら、それは主人公でなくとも大変あせることだろう。主人公の秘密の部分共有し、向こうは良い者こちらは悪者となるのだからたまらない。一郎のすることは大たんた。作文を写したり、テストの問題

カメラでトラをつかまえる!

聖徳大学附属小学校三年 湯浅 博斗



課題図書 飯島 正広
「カメラでトラをつかまえる」

表紙のトラの写真は、ねらったえ物に今にもとびかかりそうです。ぼくは、その姿がこわそうだけれど、とてもかっこよく見えました。それで、トラの事がもう少し知りたくなりこの本をえらびました。

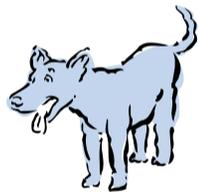
「カメラでトラをつかまえる」のほかに役立てようとしたから、トラが肉食動物だから、トラが大人になったら人間のことをおそったり、食べたりしてしまうかもしれないと思えました。だから、ビリーさんがトラをちゃんと育てて野生にもどしたのは勇気があるなあと思いました。でも、本を読んできていくうちに、ビリーさんは完全に野生に戻ったトラの姿を見とどけようとしているのではな

い、かと思つようになりました。本当はトラの事が好きで、大切に考えているからこそ、ペットのようにかわいがりながら自分の手もとにおいてほごするのではなく、本当の動物の幸せをねがって野生にもどしたのだと考えるようになりました。

ぼくは最初、トラは肉食動物だから、トラが大人になったら人間のことをおそったり、食べたりしてしまうかもしれないと思えました。だから、ビリーさんがトラをちゃんと育てて野生にもどしたのは勇気があるなあと思いました。でも、本を読んできていくうちに、ビリーさんは完全に野生に戻ったトラの姿を見とどけようとしているのではな

カメラでトラをつかまえる!という名前前の動物園生まれのめすのトラを、ドド国立公園の中のしせつで育てた後、野生に戻したけいけんがあるそうです。トラをかいながら、トラの生活をかんさつし、インドのト

「カメラでトラをつかまえる」のほかに役立てようとしたから、トラが肉食動物だから、トラが大人になったら人間のことをおそったり、食べたりしてしまうかもしれないと思えました。だから、ビリーさんがトラをちゃんと育てて野生にもどしたのは勇気があるなあと思いました。でも、本を読んできていくうちに、ビリーさんは完全に野生に戻ったトラの姿を見とどけようとしているのではな



れているように感じていたに違いない。だから同じ自分となつて現れてくるのだ。
一郎みたいな夢を私もみる時がある。自分が気にしていることが夢には出るようだ。一郎は、自分の容姿に少しコンプレックスをもっているのかもしれないし、作文や算数のテストに困っているのかもしれない、帰りの上り坂を登るのが本当に大変なのかもしれないし、どうしても西部げきの映画を観たかったのかもしれない。

一郎はそんな夢をみた後、「なんて、変なことを考えていたんだろう。」と言っている。夢で自分がした

「誰か助けて。」とつぶやいてしまふ。そして、どこからともなくやって来て、たまった宿題をいとも簡単に片づけてくれる人が現れるのを想像する。

一郎はそんな夢をみた後、「なんて、変なことを考えていたんだろう。」と言っている。夢で自分がした

「誰か助けて。」とつぶやいてしまふ。そして、どこからともなくやって来て、たまった宿題をいとも簡単に片づけてくれる人が現れるのを想像する。

一郎はそんな夢をみた後、「なんて、変なことを考えていたんだろう。」と言っている。夢で自分がした

「誰か助けて。」とつぶやいてしまふ。そして、どこからともなくやって来て、たまった宿題をいとも簡単に片づけてくれる人が現れるのを想像する。



た。ぼくは、トラは人をおそさげんがあるの、この方法はとてもいいアイデアだと思えました。でも、温度計は四十五度近くをさし、赤外線センサーは、川の中にもねまで入りながらとりつけたそうです。中と半ばな気持ちでは、こんな事はとてもよくにはできないと思ひました。

マン飯島さんの気持ちがカメラにとどいたのだと思ひました。インドで飯島さんは、トラにおそれそうになり、ひっそりにげて助かった事もあったそうです。こんなに色々大変な思いをして、チャレンジする飯島さんからは、「何としてもいい写真がとりたい!」という気持ちが強く伝わってきました。本当にトラにきょう味があつて、どうしても知りたいたのだと思ひました。自分が食べられてしまふかもしれないけれど、飯島さんは写真をとり続けています。トラが好きで好きでたまらないのだと思ひます。そんな風に仕事にうちこむ飯島さんのことを、とてもかっこいい人だとぼくは感じるようになりました。

カメラを取りつけた次の朝、カメラはトラにおたおたされたり、どろとよだれでべちゃべちゃにぬれて五百メートルもはなれた草の中から見つかったり、コードはかみ切られたりしていました。でも、フィルムはなんと十二枚もきれていたのです。自動カメラでうつしたトラの写真もこの本にのつていました。立派なトラの姿が力強くうつし出されていきました。まさに、カメラ

ぼくも飯島さんのように、体中がふるふるくらいほれこむ事を見つけて、それにチャレンジ出来る大人になりたいです。そして、やりたい事のためにいつまでもがんばれる、幸せな人になれるよう、「毎日色々な事にかんばつて取り組もう!」という気持ちになりました。

クロだというのはなく、自分をみつめるもう一人の自分のような気がする。太郎は「善」で一郎は「悪」だ。自分の中の二面性が、この夢に現れたように思う。犬丸太郎は一郎の良心だ。一郎に、そうしたらいけないということを気づかせてくれる。同じことをしてみて、「こんな自分をどう思う?」

一郎はふだんはクラスでは優等生なのだろう。学級委員をしたり、宿題を忘れることが初めてだったり、犬丸太郎がやって来るまでクラスの花形だったというところから分かる。

「こんな自分をどう思う?」と、無言で問いかけてくる。犬丸太郎を通して自分を知るのだ。もし、私の前に同じことをする私が現れたら、私はどう思うだろう。私の姿ってどんなふうに見えるだろう。自分が思っているよりも本当の自分はしつかりしていないかもしれない。きっと一郎のように、自分の姿に自分で腹を立てるような気がする。

優等生でいつづけるのは大変だろう。だから、こんな悪い考えをおこす夢を見たりするのだ。私も優等生まではいかなかったも、自分に恥じないように生きていきたい。何かの誘惑に負けそうになつても、そんな自分をしっかりと自制できるような自分の目を持ちたい。

一郎はそんな夢をみた後、「なんて、変なことを考えていたんだろう。」と言っている。夢で自分がした

私の中にもきっと犬丸太郎のような存在がいる。辛い時に誘惑に負けそうになつても、それをき道修正してくれるような何かかいてくれて、今の自分があるように思つた。



研究室から 第9回 大庭邦彦

聖徳 徳大松戸キャンパスから歩いて十分ほどのところに「戸定邸」があります。戸定邸は、水戸藩最後の藩主であった徳川昭武の隠居所として一八八四(明治十七)年に建てられました。国の重要文化財に指定されています。

◆昭武は当時華族の間ではやっていた写真に興味を持っており、ここを拠点に古ヶ崎・金杉・小金・千駄堀・日暮などといった周辺の村々にしばしば撮影に出かけています。兄でもある最後の將軍慶喜も同邸を訪れ、一緒に撮影に出かけることもありました。

◆作品は隣接する歴史館に所蔵されていますが、その多くは、農作業にいそしむ地元の人々の姿を撮影したものです。虚飾を排して彼らの素の表情をたんとと写し撮った作品からは、逆にカメラの向こうからファインダーをのぞく昭武の人となりをも彷彿とさせてくれます。さらにこれらの作品群は、明治中期



戸定邸

の農村の様子をリアルに残してくれているという意味で歴史資料としても貴重です。

◆歴史館では住宅地に変わってしまった当地松戸の百二十年前の暮らしが、昭武の写真を通して追体験できます。季節やよし！戸定邸のある「戸定が丘歴史公園」はツツジやアジサイをはじめ、種々の花々がいまを盛りと競っているはず、一度足を運んでみてはいかがでしょう。

(人文学部日本文化学科教授/専門分野は日本近代政治史)

研究所リレー連載 所長の伝言板 第13回 聖徳大学児童学研究所

児童学研究所ホームページ

聖徳大学児童学研究所 検索

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujo/jidou/>

本研究所が主催する講演会や研究発表会の情報を掲載！ぜひご覧ください。

子どもの教育シンポジウム



所長 松浦 信夫

平成七年四月、教育改革の機運が沸々としていた中で、未来を展望してこれからの時代に生きる子どもたちのさまざまな問題に光をあてるべく、聖徳大学児童学研究所が誕生しました。

「子どもを知る」をテーマとして、さまざまな活動を行っています。医学・心理の視点から子どもの成長発達をテーマにした「子どもの発達シンポジウム」と、教育学の視点から子どもの教育をテーマにした「子どもの教育シンポジウム」に、特に力を入れています。

昨年度の「子どもの教育シンポジウム」は、「若手」を活かす「学校力」をテーマとして、大学を卒業して現場へ出たばかりの新任教諭が抱える課題を解決するための一助になればという思いで開催いたしました。

新任教諭の中には、子どもたちの前に立つても、なかなか思いを伝えることができなかったり、うまくまとめることができない悩



昨年度の子ども教育シンポジウムの様子

「子どもを知る」をテーマとして、さまざまな活動を行っています。医学・心理の視点から子どもの成長発達をテーマにした「子どもの発達シンポジウム」と、教育学の視点から子どもの教育をテーマにした「子どもの教育シンポジウム」に、特に力を入れています。

昨年度の「子どもの教育シンポジウム」は、「若手」を活かす「学校力」をテーマとして、大学を卒業して現場へ出たばかりの新任教諭が抱える課題を解決するための一助になればという思いで開催いたしました。

新任教諭の中には、子どもたちの前に立つても、なかなか思いを伝えることができなかったり、うまくまとめることができない悩

楽習フェスタ2012~第14回 聖徳大学生涯学習フォーラム~

URL <http://www.tunagari.jp/>

日時: 6月9日(土)13:30~16:15 / 6月10日(日)10:00~16:00

「地域で子どもを育てよう」をテーマに、1日目は青少年教育の専門家を交えた鼎談と2つの分科会、2日目は地域の企業・団体にご協力いただいて小学生を対象にお仕事体験ワークショップ「聖徳おしごとデパート」を開催します。あわせてかえっこバザール、Kids英語ひろばを実施します。皆さま、ぜひご参加ください。

場所: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館)【松戸駅東口徒歩1分】
【お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習研究所 Tel.047-365-5691(直通)

参加費: 無料

む人が多く、シンポジウムでは、授業で何を伝えるかを明確にすることや他の先生の授業を見ることで問題を解決した事例などが発表されました。

今年度は、七月二十八日(土)に開催し、「幼・保・小連携の視点」について取り上げたいと考えております。プログラムの詳細は、児童学研究所ホームページに掲載します。ぜひご参加ください。

読売新聞社主催 「第八十二回新人演奏会」に 本学から四名出演



左より藤川さん、横尾さん、松本さん、松丸さん

五月三日(木・祝)、読売新聞社主催第八十二回新人演奏会が、上野の東京文化会館大ホールで開催されました。この演奏会は、一九三〇年から始まり、今年で八十二回を数える国内で最も古くからの伝統と実績を誇る「新人演奏会」です。

全国の音楽大学、音楽系短期大学の中から今回は

三十六校が参加し、各大学から平成二十三年度にトップクラスで卒業した学生が出演しました。本学からは、音楽学部演奏学科卒業生を代表してソプラノ独唱の松本直子さん、ピアノ伴奏の松丸樹さん、ホルン独奏の横尾映美さん、ピアノ伴奏の藤川慶子さんの四名が出演しました。

演奏曲目は松本さんが、プッチーニ作曲の歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」を松丸さんのピアノ伴奏で華麗に歌い上げました。そして、横尾さんが、グラズノフ作曲の「夢想作品二十四番」を藤川さんのピアノ伴奏で会場全体に響き渡るホルン演奏を行いました。フレッシュな演奏家のこれからの成長と活躍が期待されます。

平成二十四年度 留学生オリエンテーション 新入留学生在先輩と交流



自己紹介をする新入留学生

四月十一日(水)、留学生オリエンテーションとして新入留学生歓迎会が、大学一号館にある学生ホール「リュミエール」にて開催されました。今年度の新入留学生は、大学院七名、学部

(編入)二名、短大二名の計十一名でした。大勢の先輩留学生、日本人学生、教職員が激励するために集まり、総勢五十名を超えるにぎやかな会となりました。

始めに新入留学生全員がとも緊張した様子で一人ずつ自己紹介をし、その後焼きたてのピザや飲み物を囲み、大学生活や出身地の話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごしました。新入留学生からは「自分にはこんなに頼れる人がたくさんいてうれしい。」との声もあり、不安や疑問を相談する場となりました。

最後に、先輩留学生代表



リュミエールのピザ ※普段はさまざまな焼きたてのパンを提供しています!



部員たちと(上段中央は部長の百瀬定雄教職研究科准教授、上段右端が筆者)

大学1号館の“水槽”を泳ぐ「鯉のぼり」

今年5月、大学1号館にある川並弘昭記念図書館内の「子ども図書館」では、端午の節句にちなみ、「五月飾り」として五月人形や日本各地の郷土玩具などを展示しました。その一環として、建物の窓一面には鯉のぼりも飾られました。



二日目は、箱根彫刻の森美術館を見学しました。本学園に縁のある流政之氏、多田美波氏などの芸術作品も展示されています。この二日間の交流は、人としてのコミュニケーションのあり方を今一度見直し、建学の精神である「和」を理解するためのよい機会になっています。

読者の皆さま

春風そよ吹く遅日、周回練習の途上で藤の花を見かけました。そこはかたない風情を感じましたものですからしばらく足を止め、愛でていたのです。

坂の上 導(しるべ)となりし 藤の花

まるで選手たちの道標となっているかのようでした。藤はマメ科の一種です。秋にその実は音をたてて、さやから弾け飛ぶのだそうです。

そんな藤の花言葉のような大いに「歓迎」すべき6選手が、この春入部してきました。

彼女たちも秋には藤つるのような強さを備え、関東大学女子駅伝(9/30)では、その実(身)を大いに弾けさせてほしいと思う今日このごろです。「がんばれ!」の一言が何よりも励みになります。皆さまの熱い声援をいただければ幸いです。

走走 五月吉日
陸上競技部
監督 佐藤信春

昨年四月に創設された聖徳大学陸上競技部。日夜走り続ける彼女たちの風を感じてもらったために、今号より四回にわたり、陸上競技部監督からの便りをお届けいたします。



新入生歓迎フレンドシップツアー(FIT)が、五月七日(月)・八日(火)の二日間でスタートして、全七班編成で行われました。この研修の目的は、箱根の自然の中で一泊二日の集団行動をすることにより、新入生



彫刻の森にて

と在生、教員と学生の結びつきを強め、大学生活や卒業後の社会生活を送るための基礎をつくることにあります。

一日目は、今年から二、三年生での合同ミーティングを行い、学習スタイルの自己点検や、今後大学生活を進める上での意見交換を行いました。さらに、夕食後のグループミーティングでは、新入生が上級生の部屋に招かれ、楽しいひとときを過ごし親睦をはかりました。

平成二十四年度「新入生歓迎フレンドシップツアー(FIT)」を終えて

保護者の授業見学のご案内 —すべての授業を見学できます—

〈前期(1学期)〉

平成24年5月7日(月)～平成24年7月20日(金)

〈後期(2学期)〉

平成24年9月10日(月)～平成25年1月18日(金)

見学時間: 1時限目～7時限目 全授業

※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講などを実施いたします。不定期になりますので、お問い合わせの上、お申込みください。※ご質問・お問い合わせは、本校学生サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。

Tel:03-5476-8811 Fax:03-3476-8820 E-mail: senmon@seitoku.ac.jp

ループミーティングは、一・二部生混合で上級生の司会進行のもと、子どもころに遊んだ「フルーツバスケット」を楽しんだり、授業で学んだ手遊び歌や手作りの人形劇を演じたりと、保育者を目指す学生らしい内容が目立ちました。各グループで上級生が考案した内容は、「指導案」のように詳細にまとめられ、これまで学んできたことが随所に生かされていました。また、どのグループでもピアノ連弾がありました。連弾を行った学生の中には入学当時はピアノ初心者の上級生も多く、新入生からは「一年間でこんなに弾けるようになるんだ!」と、これからのピアノレッスンに期待する声が多く聞かれました。

「簡単で低カロリー、お腹が満たされる」を学びながらのランチタイムを挟んで、午後からは一部生、二部生に分かれ「学生生活Q&A」が行われました。学校の様子や授業の内容はもちろん、二部生では、「保育者になりたい」という夢を再確認しました。

特別展覧会

「レンズを通して見る世界の野鳥たち」展

会期 / 6月15日(金)～7月31日(火) **入場無料**
※初日の6月15日(金)は、午後1時よりの公開です。

会場 / 聖徳大学1号館 聖徳博物館



根付 孫悟空分身の術 (東声方作) コサギ(フランス)

高円宮妃久子殿下がこれまで世界各地で撮影された、大自然の中で生き生きと羽ばたいている野鳥たちの姿を紹介します。また、高円宮殿下が妃殿下とともに蒐集された「根付(ねつけ)」を特別出品として展示します。

特別展覧会/聖徳大学心理・福祉学部開設記念

「ピーターラビットとその仲間たち」展

会期 / 好評開催中～8月11日(土) **入場無料**

会場 / 聖徳大学8号館 ギャラリー



「ピーターラビットのおはなし」(1902(明治35年)年 植村)

本学所蔵のコレクションの中から、ビアトリクス・ポターが描いた愛らしい動物たちで人気の高いピーターラビットとその仲間たちに関連した初版本やグッズなどを公開中です。

特別展覧会

「利根山光人コレクション」展

会期 / 好評開催中～10月31日(水) **入場無料**

会場 / 聖徳大学8号館 利根山光人記念ギャラリー



「天馳せる」リトグラフ(1988年)

本学園の2012年版カレンダーに使用されたドン・キホーテシリーズの作品を中心に展示しています。

附属女子中学校・高等学校

附属女子中学校

第三十回入学式

八十四の笑顔の花が咲く

新生が入学するのを待っていたかのように桜の花が満開の中、四月九日(月)、川並知子名誉学園長、川並弘純学園長、川並芳純校長、ご来賓、保護者の皆さまが温かく見守る中、平成二十四年度第三十回入学式が挙行されました。

少し大きめの新しい制服に身を包み、大きな期待と少しの不安の中でこの日を迎えた中学校新入生八十四名が、入学を許可されました。多くの先生方から温かいお祝いの言葉をいただき、生徒たちにとって今後の中学校生活への心強い励ましになっていました。また、生徒宣誓は、厳

かな雰囲気の中にも堂々と中学生らしい宣誓を述べることができました。入学式終了後、保護者の皆さまには小笠原流礼法宗家・小笠原敬承斎先生のお話を聞いていただき、続けて、後援会入会式を行いました。どの顔にもこれからの学校生活に対する期待が満ちあふれていました。お祝い会食の後、親子LHR、親子記念撮影等が行われました。そして、部活動の勧誘デモンストレーションが行われていて、中を皆明るい笑顔で帰宅しました。本校生徒の一員として自覚を持つことができた一日となりました。



満開の桜をバックにクラスごと記念写真を撮影

学習オリエンテーションを終えて

入学式を終えて約一週間が過ぎた四月十八日(水)から附属女子高校一年生が、翌十九日(木)からは附属女子中学一年生が、「学習オリエンテーション」に参加しました。毎日の生活の場から離れ、成田にある「ホテル日航成田」での二泊三日の生活は、新しい学校生活が始まってすぐの生徒たちには、より一層の緊張感を与えました。

今回の学習オリエンテーションの目的は、「学習に取り組む姿勢を身に付け、積極的に知識を習得し、学習習慣の定着を図る」「聖徳生として有意義な中学・高校生活を送るための基礎作りを行う」「クラス・学年の友人と親睦を深めると同時に、集団生活で大切な約束を自然にできるように身に付ける」の三つです。

一コマ三時間連続で行われた学習の時間、卒業生からのメッセージの時間、進路希望を現実のものにするための進路指導教諭からのアドバイスの時間など、日ごろの学校生活では味わえないプログラムが盛りだくさんでした。

緊張しながらも楽しみながら目的を達成することができました。この学習オリエンテーションでの成果をこれからの中学校・高校生活の三年間に生かして、立派な「聖徳レディー」に成長していきます。



取手聖徳女子中学校・高等学校

かすがの森での聖徳の学び

「Seitoku Freshmen's Camp」実施

桜の花がようやくよくほころび始めた四月八日(日)、取手聖徳女子中学校・高等学校の新入生百六十七名を対象とした「SFC(Seitoku Freshmen's Camp)」が、長野県佐久市にある学園の施設「かすがの森」で行われました。恒例となったこの合宿は「真の聖徳生になる」ために、学習方法について学び、クラスメイトや学年教員との親睦を図り、その後の学校生活の基盤作りをすることが目的です。

初日は開校式に続き、長野雅弘校長による講話があり、「長野式復習法」や「学校生活を楽しむする方法」が伝授されました。その後は国語・数学・英語の各担当者から、授業の心構えやノートの取り方、予習・復習の方法など、「取手聖徳流学習方法」を学びました。二日目は学習だけでなく、「夢をもとう」「よりよい人間関係を築くために」をテーマとした講義の時間も設けられ、いずれの時間も生徒たちの真剣なま

なざしでメモを取る姿が印象的でした。緊張の中、スタートした合宿でしたが、三日目には生徒たちに自信に満ちた

表情や元氣な挨拶が見られるようになりました。この合宿の成果を明日からの学校生活に発揮していきます。



きれいな姿勢で長野校長の講話を聞く生徒たち

スクールバス・リニューアル！ 10路線全てがスクールバスに



スクールカラーである緑のラインを配し、ロゴと学校名がデザインよく刻まれた車体

四月一日(日)より、茨城県、千葉県の一市町村と九駅(JR常磐線「取手」「藤代」、つくばエクスプレスの「守谷」「みらい平」「みどり」)、関東鉄道常総線「水海道」、東武野田線「梅郷」、JR成田線「湖北」「成田」から取手聖徳までを結ぶ10路線(取手線、藤代線、つくば東線、つくば西線、八千代線、境線、野田線、成田線、新利根線、阿見線)のスクールバスが、(株)十和観光に委託されました。また、定期券往復(片道)の他、一時乗車のための回数券も利用できるようになり、利便性が高くなりました。これで、全ての路線がスクールバス(取手・藤代からは直行便)となり、より快適で安全な登下校が実現しました。

取手聖徳女子中高同窓会

「聖朋会」活動のお知らせ

- 9月22日(土・祝) 聖朋会総会・懇親会 聖徳祭
 - ・模擬店 「手作りケーキ」「玉こんにゃく」の販売
 - ・展示
- 10月14日(日) サークル活動
 - 「スポーツレク」(ソフトバレー・バドミントン)
 - 「パーベキュー」
- 平成25年
 - 3月1日(金) 聖朋会入会式

附属小学校

第二十七回入学式 代表児童が堂々と宣誓



校長先生の前に誓いの言葉を述べる児童たち

四月十日(火)、やわらかな日差しと優しい風の中、

満開の桜に囲まれた附属小学校で、平成二十四年度の第二十七回入学式が挙

行されました。緊張しつつも、たくさんの方の期待を胸に秘めた新一年生五十五名を迎えました。

式の最後には、学園長先生から「爽やかな式でした」とお褒めの言葉がありました。吹奏楽の上級生の態度も立派でした。また、保護者の皆さまが温かく見守ってくださり、暖かい春を感じた入学式になりました。

一年生を迎える集会、 「明和班」顔合わせ集会開催

四月十六日(月)、体育館に全校児童が集まり、「一年生を迎える集会」が行われました。一年生から六年生までのお兄さん、お姉さんから一年生に合奏のプレゼントがあると聞き、一年生はこの日を楽しみにしていました。

迎える集会の後には、待ちに待った「明和班」のメンバーとの顔合わせ集会です。初めは緊張していましたが、自己紹介やミニゲームをする中で笑顔も増えてきました。

当日は、「びつくりシンフォニー」という曲の合奏がありました。その名の通り、太鼓やシンバル、ティンパニ、管楽器、ハーモニカ、カスタネットなどたくさんのお兄さんが登場し、一年生は飛び跳ねて喜んでいました。

一年生は、お札に秘密で練習してきた「あしたて



今年は1年生を驚かせようと大きな音の出る楽器を増やしました

附属小同窓会 秋和会

「秋和会準備委員会」発足!

同窓会幹事 附属小教諭 渡辺 五大 (第一回卒業生)

小学校同窓会「秋和会」は、第一回卒業生の嶋崎亨大さんに今年度も引き続き会長に就任していただくことになりました。

さらに今年度は、第二回卒業生・大森亜希さん(旧姓・渡邊)、第五回卒業生・青木千佳さん(旧姓・秋元)、第六回卒業生・広瀬知里さんを迎え、準備委員会を発足させました。この役員を中心に各年度の同窓会活動を促進していきたいと考えております。

同窓会では進路指導の一環として、児童たちに卒業生による授業を始め今年で八年目になります。今までに、歯科医師である嶋崎会長が「歯みがきの仕方」の授業、同じく第一回卒業生で美容室経営者の山崎洋平さんが「洗髪の仕方」の授業

附属小のホームページをチェック!

聖徳大学附属小学校

検索



最新のトピックスを常に掲載しております。ぜひご覧ください。

「秋和会」の活動報告はこちらのリンクよりご覧いただけます。

<http://www.seitoku.jp/shogaku/shuwakai>

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

春の遠足 (府中郷土の森・新宿御苑)

園生活に慣れてきた五月に「春の遠足」を実施します。年長児は、お友達と一緒にバスに乗って



府中郷土の森にて

昔の民家やいろいろを見学して、「わらでできた屋根だね」「昔の人はここで温まっていたんだ」「この敷居は踏んだらいけないのよ」と言いながら、昔の建物の特徴やよさを覚えます。そして、午後は水遊びをして遊びます。

日(水)に実施しました。クラスごとに親子でスキップをとる遊びをした後、園児だけで公園内の散策に出かけます。別れ際に泣きながら散歩に行く姿も見られます。

「防災訓練」で身の守り方を学んでいます

幼稚園では、地震や火災時の避難や身の守り方を身に付けられるように、年六回の防災訓練を計画・実施しています。

初めての訓練では、非常用サイレンの音に驚いて涙を流し、防災帽子がかぶれずに慌ててしまう年少児の姿も見られますが、訓練を重ねていくうちに一人ひとりがおぼれるようになります。進んで机の下に避難し、ハンカチで口を押さえ、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかづかない」の「おかしもち」の約束の意味を

しっかりと理解して参加できるようにします。また、消防署の方に来園していただき、話を聞いた後、大きな消防車を見たり、消防服を着せてもらったりと、とても興味を持って学んでいます。地震車での実際の揺れを体験する機会も設けて、どのように身を守ったらよいかを園児自身で感じてもらいます。発煙筒で実際の煙の流れを見て、煙の恐ろしさや煙を吸わないように避難することも学びます。



真剣な表情で訓練に臨む園児たち

さらに、災害時の交通まひを想定して、保護者の方

にも参加していただく「引き取り訓練」も一学期に行っています。教職員も、消火訓練や通報訓練、応急処置などを消防署の方から直接ご指導いただき、園児の安全を守るよう努めています。

聖徳学園多摩中央幼稚園
みんなで遊ぼう
「親子親睦会」

幼稚園では年に三回の保育参観の他に、入園・進級して新しい生活に慣れてきたころに「親子親睦会」を行っています(今年は四月十七日(火)に実施しました)。園児たちは保護者の方と幼稚園で遊べるこの日をとても楽しみにしていて、親睦会の日が近づくと「今日はお母さん来る日?」と毎日確認し、心待ちにしています。

この親睦会は保護者の方と遊ぶことだけでなく、クラスの親睦を図ることを目的としているので、どのクラスもまずはゲーム形式で自己紹介をしました。この自己紹介で園児はもちろん、保護者の方も今まで話したことのない方と話すこ



親子が一緒になって友達のを広げました

とができ、親子共に新しい友達作りのきっかけになったようです。

その後、動物や園児の好きなキャラクターのペンダントをかけてゲームをしたり、じゃんけんのゲームを

したりして楽しく過ごしました。初めは緊張が見られたクラスも、会が終わるころにはすっかり和みました。新入園児にとっては初めての園生活、進級園児にとっても新しいクラスでの生活で、子どもの様子を心配している保護者の方も多い時期ですが、幼稚園の一日の生活の流れや友達とかわって過ごしている様子を見ていただくことができ、不安を取り除くことができました。

配している保護者の方も多岐にわたりますが、幼稚園の一日の生活の流れや友達とかわって過ごしている様子を見ていただくことができ、不安を取り除くことができました。

聖徳大学附属第二幼稚園
給食が
始まりました!!

三歳児は、入園してもうすぐ一ヶ月が経とうとしています。少しずつ幼稚園生活にも慣れ、泣いていた幼児も笑顔に変わり、園庭遊具やままごとコーナーやブロッコリーなど好きな遊びを見つけて、友達と一緒に積極的に遊ぶ姿が増えてきました。

四月二十六日(木)から本格的な給食が始まりました。家庭とは違った環境で食べることに少しずつ慣れるよう「ならし給食」からスタートしています。クラッカーサンド、ゼリーをいただきました。



大きく口をあけてほお張りながら食事をする園児たち

本給食の初日は、園児たちが大好きなカレーライスでした。「ああ、いいにおい」「ぼく、いっぱい食べられるよ!」と食べる気満々の声。ほとんどの園児が完食できました。中には、野菜が苦手な手をつけずにい

「ならし給食」からスタートしています。クラッカーサンド、ゼリーをいただきました。

聖徳大学附属浦安幼稚園
「こにこルーム」
二歳児パンダ組

今年四月、身体や心の発達が大変な時期に豊かな体験をさせ、一人ひとりの幼児の個性やよい面を認め、健やかな成長を支援する目的で、「二歳児対象の「こにこルームパンダ組」を開会しました。



今日の絵本はなにかな

家庭生活では味わえないたくさんのお友達との遊びを通して、優しい気持ち、我慢する心やきまりを知り、守る心を育て、さらに、「あいさつ」「衣服の着脱」「排泄」「食事」などの基本的な生活習慣を、幼稚園生活で楽しく身に付けていくことがねらいです。

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

「こにこルーム」開会しました。園児も一人ひとりの個性やよい面を認め、健やかな成長を支援する目的で、「こにこルームパンダ組」を開会しました。

聖徳大学附属成田幼稚園
成田山公園への遠足

新年度がスタートし、園児たちが幼稚園生活や新しいクラスにも少しずつ慣れてきた四月二十一日(土)に、



池で鯉を探す園児たち

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

成田山の大本堂前に集合し、クラスごとに記念写真を撮り、公園内の散策に出発しました。学年ごとに歩くコースや距離が違いますが、今年には特に年少児の園児たちがなかなか歩かず、保護者に「抱っこ」をせがんでいる姿が多かったです。

聖徳大学附属幼稚園
「チーバくん」
ふるさと・ことばかるた
読み札に採用

昨年六月から七月にかけて、千葉県教育委員会が、日本語の理解を深める教育の取り組みとして「チーバくんふるさと・ことばかるた」の読み札の公募を実施しました。



千葉県内の書店にて販売中

応募規定には、読み札に家族や友達、動植物を慈しむ心、ルールやマナーを守る心、ふるさと意識などの道徳的要素や、日本語特有のリズムや響きを盛り込むこととありました。

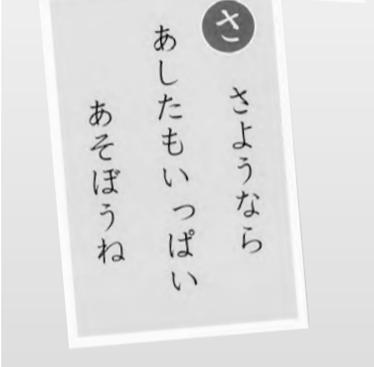
附属幼稚園の園児・保護者も多数作品を応募しました。読み札選定委員会で、八千九十の応募作品の中から四十四作品の

読み札が昨年八月二日(火)に決定し、本園の三歳児(当時)の大山翔央君の作品「さようなら あしたもいっぱいあそぼうね」が選ばれました。

幼稚園でも、かるた遊びを通して、文字や言葉の覚えらるとともに、自分たちの住む千葉県を知り、美しい日本語の響きを楽しめるよう



翔央君の採用作品



翔央君の採用作品

園児もいましたが、「この野菜を食べると大きくなるよ」と励ましの言葉をかけると、チャレンジするがばりも見られます。

家庭での食生活も大きく変わり、アレルギー対応も含め、園児たちが心身共に健康に育つよう偏食をなくし、友達と一緒に食べる楽しさや喜びを味わいながら、食事のマナーや正しい箸の持ち方が身に付くよう、援助して



池で鯉を探す園児たち

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごそう」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

成田山の大本堂前に集合し、クラスごとに記念写真を撮り、公園内の散策に出発しました。学年ごとに歩くコースや距離が違いますが、今年には特に年少児の園児たちがなかなか歩かず、保護者に「抱っこ」をせがんでいる姿が多かったです。

